



取締役会長メッセージ

持続可能な社会の実現に
貢献するソリューションを提供し
企業価値・株主価値の
向上を図ります

取締役会長
小林 喜光

1. 2019年度の取締役会を振り返って

指名委員会等設置会社である当社の取締役会は、経営の基本方針の策定および経営全般の監督を担っており、2019年度は計11回の取締役会を開催しました。9月に開催した取締役会では2050年のめざす社会の姿からバックキャストした2030年におけるMCHCグループのありたい姿を描くKAITEKI Vision 30について時間をかけて議論し、また11月には田辺三菱製薬(株)の完全子会社化について活発な議論が展開されました。

2. MCHCグループを取り巻く状況

新型コロナウイルス感染症が社会・経済のみならず、私たちの暮らしや働き方そのものを大きく変えました。ウイルスとの共生を前提に、物理的な接触機会の削減、ソーシャルディスタンスの確保を常態とする、ニューノーマルの世界への対応にはデジタルの活用が不可欠であり、こと日本においては、テレワークの拡大でその遅れが判明したデジタル化の推進が急務となります。

一方で、医療や介護分野、芸能、スポーツ等、ヒトやモノに物理的に触れることが必要な領域もあり、そもそも快適な衣食住と健康な暮らし自体、本質的にフィジカルなものです。製造業をなりわいとする当社グループも、製造や研究の現場ではまさにモノそのものと向き合い、機能商品・素材(ケミカル

ズ・産業ガス)・ヘルスケア分野の事業を通じて、人々の快適な生活を下支えています。今回の感染症に対しても、医療者が着用するプラスチックガウンやフェイスガード、医療機関での洗濯に用いる水溶性ランドリーバッグ、また受付カウンター等に設置する間仕切り用の透明アクリルパネル(反射防止フィルムを貼合したモデルは反射による映り込みが少なくテレビ番組の収録に使用されました)等、感染防止に役立つフィジカルな製品を多くラインアップしています。今後も、広範な社会課題の解決に貢献するさまざまなソリューションを提供していきます。

3. KAITEKI実現をめざして

近年ESG投資が存在感を増しており、今回のコロナ禍によりその風潮は強まるでしょう。企業の社会性・公益性がますます問われるようになり、企業価値をめぐる新たな時代が到来します。

今年度は次期中期経営計画策定の年であり、取締役会においてもwith/postコロナを見据えたポートフォリオ・トランスフォーメーションが重要なテーマとなります。私も議長として、社外取締役の方々に十分に能力を発揮いただけるよう、積極的に議論をリードします。先行き不透明な状況ですが、引き続きKAITEKI実現をめざして、企業価値・株主価値の向上を図ってまいります。

社外役員の主な活動状況並びに取締役会及び各委員会への出席状況

氏名	活動状況	取締役会等への出席状況(2019年度)		
		取締役会	出席回数/総回数	出席率
伊藤 大義	取締役会では、公認会計士としての経験と高い見識を活かし、財務・会計やリスクマネジメント等に関する発言を行っています。 また、監査委員会では、監査計画に基づき、内部統制システムの整備・運用状況や中期経営計画APTSIS 20の進捗状況等を当期の重点監査項目とする中、社外監査委員としての職責を適切に果たしています。報酬委員会では、執行役の報酬水準や業績連動型報酬比率等を当期の主要議題とし、同委員長として、議事運営を行うとともにその結果を取締役に報告するなど、その職責を果たしています。	取締役会	11回/11回	100%
		監査委員会	13回/13回	100%
		報酬委員会	7回/7回	100%
國井 秀子	取締役会では、会社経営の豊富な経験と情報処理分野における専門知識を有していることに加え、ダイバーシティ推進に関する高い見識を活かし、女性の活躍推進、科学技術・IT等に関する発言を行っています。 また、指名委員会では、経営陣幹部の人事、CEOの人材要件と評価等を当期の主要議題とし、同委員として適宜発言を行うなど、その職責を果たしています。監査委員会では、監査計画に基づき、内部統制システムの整備・運用状況や中期経営計画APTSIS 20の進捗状況等を当期の重点監査項目とする中、社外監査委員としての職責を適切に果たしています。	取締役会	11回/11回	100%
		指名委員会	6回/6回	100%
橋本 孝之	取締役会では、会社経営の豊富な経験とデジタルビジネスに関する高い見識を活かし、グローバル経営、事業ポートフォリオ戦略、リスクマネジメント等に関する発言を行っています。 また、指名委員会では、経営陣幹部の人事、CEOの人材要件と評価等を当期の主要議題とし、同委員長として、議事運営を行うとともにその結果を取締役に報告するなど、その職責を果たしています。報酬委員会では、執行役の報酬水準や業績連動型報酬比率等を当期の主要議題とし、同委員として適宜発言を行うなど、その職責を果たしています。	取締役会	11回/11回	100%
		指名委員会	6回/6回	100%
		報酬委員会	4回/5回	80%
程 近智	取締役会では、会社経営の豊富な経験と経営ノウハウに関する高い見識を活かし、グローバル経営、純粋持株会社の役割、企業価値向上に向けたビジネスモデルの在り方等に関する発言を行っています。 また、指名委員会では、経営陣幹部の人事、CEOの人材要件と評価等を当期の主要議題とし、同委員として適宜発言を行うなど、その職責を果たしています。報酬委員会では、執行役の報酬水準や業績連動型報酬比率等を当期の主要議題とし、同委員として適宜発言を行うなど、その職責を果たしています。	取締役会	7回/7回	100%
		指名委員会	5回/5回	100%
		報酬委員会	5回/5回	100%
菊池 きよみ	取締役会では、弁護士としての経験と高い見識を活かし、取締役会の役割や責務、個別案件に係る法的リスク評価、コンプライアンス等に関する発言を行っています。 また、指名委員会では、経営陣幹部の人事、CEOの人材要件と評価等を当期の主要議題とし、同委員として適宜発言を行うなど、その職責を果たしています。監査委員会では、監査計画に基づき、内部統制システムの整備・運用状況や中期経営計画APTSIS 20の進捗状況等を当期の重点監査項目とする中、社外監査委員としての職責を適切に果たしています。	取締役会	7回/7回	100%
		指名委員会	5回/5回	100%
		監査委員会	10回/10回	100%

社外取締役連絡会

取締役会とは別に、経営上の重要な情報を共有し、経営課題に対して率直な意見交換をする場として、社外取締役と取締役会議長及び社長をメンバーとする「社外取締役連絡会」を毎月1回開催し、特に社外取締役の方々にその専門性と高い見識を活かして十分に能力を発揮していただけるようになっています。

トレーニング

社外取締役に対し、継続的に当社グループの事業内容、組織等について説明するとともに、定期的に国内外の事業拠点の視察や経営陣との対話の機会を提供することとしています。また、社内の取締役に対しては、コンプライアンス、内部統制の研修に加え、外部団体が主催するセミナー等への積極的な参画等、取締役にふさわしい資質を磨く機会を提供しています。